

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月20日

協議会名: つるぎ町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
つるぎ町	<p>町内山間地域の17地区を月に3~4回(平日のみ)運行し、乗り継ぎをせずに町内の主要施設にアクセスし運行している。</p>	<p><前回の評価結果概要> アンケート調査及びニーズ調査を実施し、ルート改善を行っていることが確認できた。 過疎化の影響もあり利用者の増加が見込めない状況と分析されるが、今後も住民ニーズを反映した利便性・効率性の高い交通サービスの提供を引き続き行い、住民生活に欠かせないより質の高いサービスを目指してください。</p> <p><評価結果の反映状況> 前年度に引き続き、コミバス利用者のニーズ把握に努め、地域の実情に合う交通体系が構築できた。</p> <p>令和6年12月には利用者を対象に職員によるアンケート調査を実施し、利用者の意見が聞くことができた。</p> <p>利用者の意見を反映し、3地区のルート改善を図った。</p> <p>地域間交通ネットワークとしては、従来よりJR徳島線(貞光駅)に、全てのつるぎ町コミバスを接続し、乗換を考慮したダイヤ(概ね5~10分程度で接続、JR時刻改正に併せてコミバス時刻改正も実施)としているが、JR便数の減少に伴いコミバスの連絡調整が難しくなっている。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B <p>【第1目標設定】 ○1地区あたり4.0人/日 ○満足度80%以上</p> <p>【第2目標設定】 ○系統ごとの目標値としたため別紙参照 ○収支率14.4%</p> <p>【第1目標実績】 ○1地区あたり3.8人/日(達成率:95.0%) (対前年比:90.5%) (対前々年比:77.6%) ○満足度95%(R6利用者アンケートより) (達成率:118.8%)</p> <p>【第2目標実績】 ○系統ごとの実績は別紙</p> <p>○収支率12.9%(対前年比:▲0.3%) (対前々年比:▲3.2%)</p> <p>第1目標の「1地区あたり」の目標については未達成、「満足度80%以上」については達成できた。 第2目標の「系統別利用者数」については17系統中10系統で達成できておらず、「収支率」についても達成できなかった。 要因としては、コース見直しや利用状況のヒアリング等を実施したが、過疎化に伴い、利用者数が減少し、燃料費や維持費が高騰したためと考えられる。</p>	<p>利用者減少の主な要因は、過疎化による人口減少にと考えられる。</p> <p>運転手へのヒアリングによると毎回利用していた方が亡くなったたり、施設に入ったりすることで利用者の数が極端に減ってしまう。 新規利用者もあるが減る分をまかなうほどでもない。今後も、これらの要因により、バス利用者の増加は見込めない状況である。</p> <p>そのような状況下でも利用者アンケート調査等の実施により細やかな住民のニーズ把握に努め、地域の実情に合った運行形態を構築し、たとえ利用者数が少ない地域でも交通手段を持たない町民の要望がある限り、ニーズに応え続ける地域公共交通の更なる充実を目指す。</p>
	<p>減価償却費国庫補助については、運行概要等上記に同じ。山間地での運行を行うため、急峻な地形でかつ幅員の狭い山道が多いため、運行が可能な車両を購入し、高齢者等の交通弱者の生活交通手段を確保する。</p>	<p><前回の評価結果概要> 引き続き、計画的な車両代替により利用者の利便性向上及び安全・安心な運行の確保に努めてください。</p> <p><評価結果の反映状況> 適切な車両管理・修繕を行っている。</p>	C 購入予定であった車両がメーカーの受注停止により購入できなかった。既存車両の適切な管理により運行に支障は無し。	C 購入できなかったため達成はできていない。今後定期的な入れ替えを行い、利用者の利便性の向上、安全性の向上に努め、交通弱者の生活交通手段を確保する。	<p>車両の適切な維持管理を行い、利用者の利便性の向上及び安全・安心な運行を行う。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月20日

協議会名:つるぎ町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

⑤目標・効果達成状況(系統毎1便あたり利用者数 目標・実績)

系統番号	系統名	目標	実績	達成率	対前年比	対前々年比	系統番号	系統名	目標	実績	達成率	対前年比	対前々年比
1	櫻尾・葛城・小谷	7.5	7.3	97.3%	92.4%	97.5%	10	家賀	13.5	14.0	103.7%	102.9%	95.8%
2	上喜来・黒石	7.0	6.7	95.7%	90.5%	71.2%	11	川見・三木枋	6.0	9.7	161.7%	156.5%	84.9%
3	長野・中熊	7.0	4.2	60.0%	60.0%	75.3%	12	猿飼・吉良	15.0	12.5	83.3%	82.8%	99.3%
4	猿飼・白石・高岩	7.0	7.6	108.6%	105.6%	72.7%	13	剪宇・一字	3.5	4.1	117.1%	105.1%	83.0%
5	折坂・日谷尾・高清	9.5	8.5	89.5%	89.5%	102.2%	14	赤松・片川	2.0	1.0	50.0%	125.0%	50.0%
6	日浦・蔭	8.0	8.5	106.3%	101.2%	94.4%	15	久藪・大野・伊良原	4.5	5.2	115.6%	115.6%	121.6%
7	柴内・白村	15.0	13.2	88.0%	88.0%	90.4%	16	明谷・蔭	2.0	1.8	90.0%	112.5%	64.0%
8	引地・浦山・竹屋敷	10.0	10.1	101.0%	99.0%	112.1%	17	錦谷・中野	2.0	0.9	45.0%	90.0%	38.5%
9	広谷・長木・捨子	9.5	8.6	90.5%	90.5%	100.0%							

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和7年1月20日

協議会名:	つるぎ町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本町は、徳島県の北西部、吉野川のほぼ中流域に位置し、美馬市・三好市・東みよし町に接しており、町の面積は、194.84km²あり、山林が83%を占め、南北に流れる貞光川と半田川、北部を西から東に流れる吉野川によって形成された狭小な平野部に人口の約8割が集中している。住民基本台帳(R7.1.1)による町の人口は、7,392人(3,893世帯)で内65歳以上の方が3,636人で、高齢化率は49.2%と少子高齢・過疎化が進行しており、山間地域には町全体の約2割の方が生活をしている。特に、この山間地域の高齢化率は67.2%と非常に深刻な状況となっている。</p> <p>現在、本町では『町民のニーズに応え続ける、地域公共交通体系の確保・維持』という基本方針の下、地域の利用状況に合わせたコミュニティバス運行事業を展開しており、平成27年4月には登録等に関する事務等の権限を受けたことにより、今まで以上に地域からの要望に対してスピーディーな対応が出来るようになった。</p> <p>令和4年3月には、つるぎ町地域公共交通計画を作成し、毎年度計画の見直しを行いながら、5年スパンでの事業を実施している。</p>